

2019/2020 年度 第 4 回常任委員会 議事要録

日時: 2020 年 1 月 26 日(日) 14:00-18:05

会場: 筑波大学東京キャンパス文京校舎 322 ゼミ室

出席者(敬称略): 呑海(委員長), 上村(事務局長), 赤澤, 牛島, 小山, 西脇(記録・以上常任), 青山(以上通信常任)

1. 報告事項

1.1 小委員会・事務局

1.1.1 全国大会小委員会 (担当: 赤澤小委員長)

1) 第 51 回全国大会進捗報告

・前回以降、特に進捗なし。打合せメインで、内部見学は必須ではないという方向で打ち合わせの日程調整を進めることとした。前回大会の口座はそのまま東京大会にも引き継ぐことを確認した。

・対外用・内部用それぞれの ML メンバーの更新について確認した。

・広報の体制見直しが必要かどうか、特に全国大会の広報担当については山下全国大会実行委員長に大会 ML で広報担当の現状について情報共有することを確認した。

1.1.2 研究企画小委員会 (担当: 西脇小委員長)

1) DOC 進捗状況

・2 月中にテーマ・会場・講師を確定できなければ、会報で DOC 特集ではなく広報だけという形もありうる(会報 4 月・5 月は会報編集小委員会担当, 次項 1.1.3 も参照)。

・研究グループに企画をお願いできるか確認すると同時に常任側でも企画内容を検討することとした。

・デジタルアーカイブ、デジタルヒューマニティーズ関連などのテーマも候補。

1.1.3 会報編集小委員会 (担当: 上村小委員長)

1) 編集作業進捗状況報告[→報告資料 1]

・11・12 月号刊行済, 1 月号組版中, 2 月号執筆者入稿待ち。3 月号執筆者執筆中。4・5 月号企画。6 月号執筆依頼中。

2) 『大学の図書館』の EBSCO 社データベースへの採録進捗報告

・西脇委員が確認したファイルは見本データであったため、確認の上実際の契約書データを Office365 に保存することとした。

・事務局の住所・通信手段等の記載事項以外は特段の問題がないことを確認した。彙報類の非掲載などは運用レベルで管理する。オプションの部分も原則問題ないことを確認した。

・今後 Licencor、コンタクトパーソン、メールアドレスなどを事務局で確認することとした。

3) 会報編集小委員の業務見直し[報告資料なし]

- 編集マニュアルの現状に合わせた改訂
- 会報のあり方再確認

1.1.4 会誌編集小委員会 (担当: 和知小委員長)

1) 会誌 46 号進捗状況

・論文 2 篇を査読に回していたが、1 篇については査読結果をまとめて 2020 年 1 月 24 日に著者宛文書にて通知した。

・当日のうちに著者より返信があり、期日(2020 年 2 月 20 日)までに修正の上返送するとのこと。

・もう 1 篇については、査読は完了しており現在査読結果をまとめているところである。できれば 1 月中に査読結果を著者宛通知する予定である。

・現在の進捗状況では、論文については、1 本は修正の上掲載予定だが、もう 1 本は再査読の予定であり年度内の刊行がかなり難しい見込みである。46・47 号の構成を確認することとした。投稿論文の掲載は 46・47 号で 1 本ずつ、46 号のコンテンツとしては関東合同例会報告が入稿済である。

1.1.5 広報小委員会（担当：和知小委員長）

1) 広報概況

・WEB 上の情報更新が遅れているようなので、確認の上更新依頼することとした。

1.1.6 五十周年記念事業記念出版物編集小委員会（担当：呑海小委員長）

1) 現況報告

・前回の全国委員会にて、出版物は分量 200 ページ、印刷部数 1500 部程度となった。構成は原稿・記録・年表、現在の地域グループに原稿依頼することとなった。また、旧支部にも依頼できそうなところには依頼する。スケジュールが遅れているため再設定し、2月に原稿依頼し、締切は 5 月の予定である。その他会員・非会員に「エッセイ」を執筆依頼予定。また現行体制の各「長」などにも依頼予定である(1,600～3,200字程度)。

1.1.7 五十周年記念事業海外図書館研修ツアー検討小委員会（担当：呑海小委員長）

1) 現況報告

・現況で 3 名の応募。ツアーの締切を 2 週間程度延長するかについて検討中である(後記参照)。現状の小規模でもよい。最大 10 名。

1.1.8 五十周年記念事業シンボルマーク募集小委員会（担当：和知小委員長）

1) シンボルマーク募集進捗状況

・シンボルマークの募集は 2019 年末を締切としていたが、現在応募は 0 件。

・1.1.7 と 1.1.8 に関して、シンボルマーク募集・ツアーの募集の期限を 2 月末まで延長することとした。呑海委員長からその点についてメールでお知らせの予定。

1.1.9 事務局（担当：上村事務局長）

1) 事務局業務進捗報告

- 2019/12/1(日) 2019/2020 年度第 3 回常任委員会開催
- 2019/12/16(日) 2019/2020 年度第 2 回全国委員会開催

2) 運営サポート会員の公募[→報告資料なし]

・会報 2019 年 12 月号で公募したが現時点では応募者 0 となっている。

3) 事務局住所等変更

- 購読・寄贈者向けに 198 通はがき発送
- 2 件問い合わせ、審議事項へ
- 封筒再作成着手中 →A4 と B5 封筒を 100 部ずつ作成

1.1.10 事務局出版担当（担当：市村運営サポート会員）

1) 事務局出版担当報告[→報告資料 2]

・資料に基づき会報・会誌に関する報告があった。

1.1.11 事務局会計担当（担当：上村事務局長・野寄委員）

1) 収支状況報告[→報告資料 3]

・資料に基づき収支状況に関する報告があった。

1.1.12 事務局会費徴収担当（担当: 渡邊委員・長坂委員）

1) 会費納入状況[→報告資料 4-5]

・資料に基づき報告があった。連絡先不明で返送された会員に対し電話督促ができない理由を確認することとした。

2) 地域グループ別会費納入状況[→報告資料 6]

・資料に基づき報告があった。

1.1.13 事務局組織担当（担当: 青山委員）

1) 会員現況報告[→報告資料 7]

・資料に基づき報告があった。また各グループとの名簿突合せについて、京都地域グループ・研究グループから回答があった。

2) 会員情報悉皆調査

・対処状況報告と回答率(60%弱)

・未回答者に対し再度の連絡方法として、ML 登録率を 100%にするために、ML 以外の葉書または封書で連絡を行うことを確認した。

1.2 ワーキンググループ

1.2.1 全国大会 WG（担当: 赤澤 WG 長）[報告事項なし]

1.2.2 出版・管理 WG（担当: 呑海 WG 長）

・会員への出版物頒布のデジタル化を進めることについて、前回の全国委員会で承認された。

2. 審議事項

2.1 第 3 回常任委員会議事要録確認（担当: 西脇委員）

・メールで確認することとした。

2.2 他機関からの寄贈資料の取り扱い（担当: 上村事務局長）[→審議資料 1]

・大図研からの寄贈先 8 機関(国会図書館他)だが、他機関資料からの寄贈資料について、まずは事実関係の確認、照会(寄贈資料の送付があったか、大図研からの寄贈が必要か)することとし、大図研からの寄贈を希望する場合は、交換寄贈ではなく、大図研からの寄贈のみ行う方向で取り扱うこととした。

2.2 京都地域グループからの共催申請（担当: 上村事務局長）[→審議資料 2]

・共催については問題ないが、規定を確認することとし、これに関連して Web 上の規定関係の掲載内容の確認も行うこととした。

2.3 大図研会員対応関連業務スケジュールの明確化について(担当: 西脇小委員長)[→審議資料 3]

・資料に基づき検討を行った結果、退会や所属地域グループ変更の対応期限を設定した場合の会員の不利益や期限後のさまざまな対応の可能性も生じうるため、一律の対応期限を設定するのではなく個別対応とし、必要に応じて適宜常任で審議することとした。

・新規入会時の初年度グループ活動費については、会費徴収担当からの徴収を行わない

方向で進めることとした。

・今回の審議結果を次回全国委員会に諮ることとした。

2.4 元委員長酒井忠志氏追悼記事の掲載案（担当：上村小委員長）[→審議資料 4]

・追悼記事について原稿 1 本受領済みであるが、連載記事にするか特集号にするか資料に基づき検討した結果、5 月号に提出済原稿も含めて追悼特集号とすることとし、執筆者へは特集号での掲載について連絡すること、またその他の執筆候補者へ原稿執筆依頼を行うことを確認した。

2.5 会報の巻頭言の全国委員への事前依頼（担当：上村小委員長）[→審議資料 5]

・従来巻頭言の担当は事前に割り振っていなかったが、今後は 1-12 月分の執筆担当を事前に決定し依頼を行うことについて提案があり、承認した。

2.6 「大学図書館問題研究会出版物掲載原稿の著作権規程承諾書」の改訂と改善案（担当：上村小委員長）[→審議資料 6]

・資料に基づき承諾書の改訂と改善案について検討を行った。書式で記録保存が必要であるためフォーム入力ではなく現行承諾書への自筆署名もしくは押印欄を設定すること、住所欄の修正の他、抜刷 5 部送付今後執筆者に要不要の意向確認を行う方向で進めることとした。

2.7 大学図書館問題研究会五十周年記念出版物の日程（担当：呑海小委員長）

・原稿依頼に関するスケジュールを後ろ倒しにすることとした(1.1.6 参照)。

2.8 [五十周年記念事業海外図書館研修ツアー検討小委員会審議事項]（担当：呑海小委員長）

・応募締切を 2 月末まで延長するが、当初の期限内の申請者を優先することを確認した。

2.9 大図研出版物の管理と販売[承前]（担当：呑海 WG 長）

・出版物のデジタル化と大図研の名称に関して会員の意見募集を行う予定だが、ウェブフォームを設置して回答を入力する方法について会報で周知することとし、回答は記名式とすることとなった。4 月から会員の意見聴取開始予定で、ウェブフォーム設定は事務局担当とした。

・デジタル化について、会報だけの無料頒布から会誌も電子化し無料頒布するという変更について問う内容とするが、その他の質問事項(デジタル化の可否や発送方法等)は WG で引き続き検討する。

2.10 議事要録の公開促進（担当：上村事務局長）

・昨年度の議事要録について、改めて進捗状況を確認することとした。

2.11 常任委員会 Office365 のパスワード変更[承前]（担当：上村事務局長）

・新しいパスワード案を事務局長から通知することとした。

2.12 会員情報のグループへの安全な引き渡し手順（担当：上村事務局長・組織担当）

・事務局長が次回の全国委員会までにウェブフォームを改訂する点について確認した。

3. その他

・組織・会費徴収に係る問題となっている宛先不明で返送された会員の住所確認について、組織からは電話して住所を問合せしたか、会員情報照会をどこまで行ったかについての情報共有を組織と会費徴収で進めることを確認した。会費徴収から連絡があった場合は、委員長と組織とで対応進捗状況について共有する。

・2月常任委員会開催候補日 9・16・23・24のいずれか

・3月常任予定 3/8・15のいずれか

・次回全国予定3/15・20・22のいずれか

以上